

平成25年度 サンゴ礁保全対策事業(オニヒトデ駆除)実績

市町村名	駆除事業費	駆除海域	駆除数	駆除日数	重点海域の状況	
奄美市	2,372,000	名瀬地区	大浜周辺	100	9	オニヒトデは増加傾向にあるが、平均直径から新規加入分は駆除されており、大型群体は見られない。
			摺子浜～貝浜			
		笠利地区	用安	8	5	数は少なく、小さい。
			節田	32	7	数は少なく、小さい。
		住用地区	和瀬三ツ瀬	0	1	オニヒトデの確認なし。浅瀬のサンゴは状況良い。
			和瀬港入口	0	1	オニヒトデの確認なし。
			和瀬黒崎	0	1	オニヒトデの確認なし。サンゴの状態はあまり良くない。
			スタートビラ周辺	0	1	オニヒトデの確認なし。一部白化現象がみられる。
			トビラ島周辺	0	1	オニヒトデの確認なし。
		市崎周辺	0	1	オニヒトデの確認なし。サンゴの状況は良い。	
大和村	630,000	今里沖	0	1	オニヒトデの確認なし	
		戸円沖	0	1	浅瀬は80%死滅、深海は50%死滅 再生の兆しあり	
		宮古崎沖	2	1	数は少なく小さい。サンゴの再生が良い	
		志戸勘沖	0	1	オニヒトデの確認なし。サンゴ90%死滅状態	
		石川沖	0	1	オニヒトデの確認なし。サンゴ90%死滅状態	
		西浜沖	0	1	オニヒトデの確認なし。サンゴ100%死滅状態	
		名音沖	0	1	オニヒトデの確認なし。サンゴ30%～35%再生	
		大金久・大棚沖	0	1	大金久で15%再生、大棚沖全体死滅状態	
宇検村	972,000	タエン浜	6	3	数は減少	
		金崎	16	7	増加傾向にある	
瀬戸内町	4,393,000	安脚場	71	20	サンゴ状況は良好。レイシガイ:4,839個駆除	
		デリキョウンマ	4	8	サンゴ状況は良好。レイシガイ:2,164個駆除	
		円	3	1		
		嘉渡	0	1		
		宇天	1	2		
		今井崎	0	1		

平成25年度 サンゴ礁保全対策事業(オニヒトデ駆除)実績

市町村名	駆除事業費	駆除海域	駆除数	駆除日数	重点海域の状況
龍郷町	1,150,000	学校下	3	1	
		倉崎	0	0.5	
		大仏サンゴ	2	1.5	
		白浦	6	1.5	
		コーラルガーデン	3	2	
		今徳浜	0	1	
		ハナゴイ	0	0.5	
		戸口 アウン	0	0.5	
		戸口 白浜	0	0.5	
徳之島町	1,221,000	畦	29	10	白化は見られない
		母間	31	9	健全なサンゴ群集が保たれている。
天城町	933,000	ツインポイント	0	4	オニヒトデの確認なし。
		千間沖	2	4	駆除したオニヒトデも痩せていた。
伊仙町	775,000	喜念崎	12	4	昨年と比べてオニヒトデの数はさほど変わりはない。サンゴの発育は良好である。
		佐弁	9	4	他の海域より多少の食痕が見られたがサンゴは良好である。
		面縄	7	3	オニヒトデのサイズは小型である。サンゴの発育は良好である。
和泊町	830,000	出花	1	1	レイシガイは少しあるが、オニヒトデは発見されず。
		イダシチ	2	1	2年前にオニヒトデの大量発生があったが、現在は収束している。
		ワンジョ	0	1	オニヒトデ食害は見当たらず。
		西原	2	2	オニヒトデ食害は見当たらず。
		美瀬南	7	4	同じリーフ内だが北に比べるとオニヒトデ発生は少ない。
		シナハ	46	4	オニヒトデ、レイシガイ捕獲数は多いが全体的にサンゴは回復傾向にある。
		南栄	4	2	回復傾向にある。
		美瀬北	110	6	最多発生海域のため重点的に作業実施。レイシガイも1,855個駆除。
		屋子母(西)	1	1	クチムラサキの食害が広がりがつあった。
		与和の浜	2	1	若いサンゴが増えつつあるが、レイシガイも多く確認される。

平成25年度 サンゴ礁保全対策事業(オニヒトデ駆除)実績

市町村名	駆除事業費	駆除海域	駆除数	駆除日数	重点海域の状況
知名町	800,000	沖泊(海人)	0	2	サンゴは回復傾向にあるが、稚貝も確認される。
		沖泊(阿波)	0	1	レイシガイの大きな個体を確認。
		沖泊(ブルーコーラル)	0	1	稚貝の食害を確認。
		正名(ウドゥマイ)	0	2	糊上のものが広がっているの確認。
		屋子母(東)	5	1	台風の影響か漁網や木の枝がサンゴに絡まっている状況が見られた。
		ウジジ浜沖	1	1	台風の影響か枝折れしているサンゴを確認、レイシガイは減少傾向。
		正名沖	0	1	レイシガイはゆるやかな減少傾向。
		イネダ(Wアーチ)	0	1	全体的な食害は減少傾向にあるが、一部新たにクテムラサキの食害増加を確認。
		イニナ浜沖	0	2	台風等の影響でサンゴ・レイシガイ共に減少。
与論町	770,000	長崎沖	82	8	全体的に小さなオニヒトデが多くみられた。
		皆田沖	89	10	全体的に小さなオニヒトデが多くみられた。
		赤崎沖	63	5	全体的に小さなオニヒトデが多くみられた。
		茶花B&G北東	30	4	食痕はみられるが、数は少ない。
		茶花B&G南西	13	2	食痕はあまりみられない。
		赤崎灯台東	64	9	全体的に小さなオニヒトデが多くみられた。
		茶花B&G艇庫前	10	1	数が少なく、小さい。
合計	14,846,000		879	199	

注:瀬戸内町は、ボランティアによる駆除, 町単独事業等を含む。